

職員の懲戒処分について

下記の事案につきまして、地方公務員法第 29 条の規定による職員の懲戒処分を行いましたので、お知らせいたします。

記

1 被処分者

40 歳代男性職員

2 事案の概要及び処分事由

公務出張中の東京都内において、平成 30 年 3 月 15 日（木）午前 2 時頃、酒酔い状態でコンビニエンスストアに入店したところ、店員の接客態度に立腹し口論となり、胸ぐらをつかむなど乱暴な言動をとったため、暴行罪で警察に逮捕された。なお、被害者とは示談しており不起訴処分となっている。

その後、16 日朝まで職場からの連絡に応えず行方がわからなくなり、職場に混乱を生じさせ業務の遂行に支障をきたした。

このような行為は地方公務員法第 33 条の信用失墜行為の禁止の規定及び同法第 35 条の職務に専念する義務に違反するものであり、町職員としてあるまじき行為であるとともに、全体の奉仕者たるにふさわしくない非行に該当する。

3 処分内容

減給 1 カ月（1 /10）

4 処分日

平成 30 年 5 月 24 日（木）

5 管理監督者の処分

管理監督者として、所属職員に対する管理監督が不十分であったことから、当時の上司（課長職）に文書による厳重注意を与えることにした。

6 町長コメント

職員の不祥事により、地域住民の皆さまの信頼を大きく損ねたことについて、深くお詫び申し上げます。今後全職員一丸となり綱紀粛正、不祥事の根絶に向けた取り組みを継続的に行い、地域住民の皆さまの信頼回復に努めてまいります。

担当：総務企画課
電話 87-2111（内線 111）